

Media Information

令和5年4月 ケアウェーブ

兵庫県介護福祉士会の機関誌にC-1グランプリ事例コンテストの記事が掲載されました。

ケアウェーブ



C-1 グランプリ事例コンテストに参加して

作成者：社会福祉法人 三幸福祉会 特別養護老人ホーム 清華苑
介護リーダー 駒澤 和希

1. C-1 グランプリに参加しようと思ったきっかけ

今回、自分の施設で行っているケアの事例を発表するという、私自身にとっては、初めての挑戦をしました。C-1 グランプリに挑戦したいと思ったきっかけは、世間の介護の仕事のイメージを変えることができるのではないかと考えたからです。

仕事に就く前、よく周りの友人に介護のイメージを聞くと「身体的にも精神的にも大変そう」「自分には出来ない」等、マイナスなイメージの言葉が多かったです。

私も大変な仕事であるという印象があり就職しましたが、実際に介護の仕事をするとう印象が変わりました。もちろん、仕事を行う中で大変だと思ふ事はありますが、それよりも、人の役に立っていると実感できることや、ご利用者から直接感謝の言葉をもらえることにより、大変だというよりもやりがいのある仕事であると感じています。

私自身が体験した経験や感じたことを、今回の事例発表を通して世間や、特に介護の仕事に興味がある人たちに伝え、介護業界全体のイメージアップに繋がればと思いました。



2. 参加してよかったこと

それは、自分自身の成長にも繋がったことです。

私は人前で話すことが苦手でした。ですが、挑戦したからには絶対に成功させたいと強く思い、人前での話し方やプレゼンテーションの仕方を勉強し練習しました。ここでの学びをきっかけに普段は意識していなかった物事の伝え方を意識するようになり、現在は以前よりも落ち着いて的確に発言ができるようになりました。

そして、施設全体で取り組んできた内容を C-1 グランプリのような事例発表会で取り上げる事で事例を通してケアの見直しを行う事もできました。さらに賞を頂いたことで、今後のケアに対しても胸を張ってサービスを提供することができるようになり、ご利用者のニーズに応えられているという実感を得ることに繋がりました。

その結果、職員の自信にも繋がり介護現場の士気が上がるきっかけにもなりました。

最後に、これからも、認知症対応についての理解を深め、ご利用者の笑顔に繋がるサービスを提供できるように精進し、今まで以上に「介護は素敵な仕事だ」と思ってもらえるように介護人として、これからもご利用者のケアを一つ一つ大切に行っていきたいと思っています。

また、私が職場の先輩たちが C-1 グランプリで発表している姿に憧れたように、私の姿を見て発表したいという人が増えるようにこれからも積極的に参加していきたいと思います。